

「わが図書館ならではの本」

～阿久根市～

丹宗律光画集「草木写生図」

丹宗律光(たんそうりっこう 1920-1960)は阿久根市出身の画家です。

東京美術学校日本画科を卒業後満州に渡り、1000枚を超える植物画を描きますが、昭和20年の敗戦で帰国。一枚も持ち帰れなかったことから創作意欲を失う日々の中、アスファルトから芽生える雑草に発奮し、再び筆を握ることを決意します。

その後、阿久根及び、日本の南の植物を中心に手書きの植物1000点を描き上げ、これに学術的な要素も加えた植物図鑑「草木写生図」は、律光が制作を進めている途中、体調を崩し、58歳でこの世を去ったことから、未完となってしまいました。

しかし、一部完成の植物図鑑は、昭和24年、天皇皇后鹿児島巡幸の折、岩崎谷荘において展覧の栄に浴することとなります。現在、手製で全12巻からなるこの図鑑は市立郷土資料館に収蔵されていますが、複製本が阿久根市によって制作・一般販売され、非常に高度な技量の絵と、添えられた花句集や花物語などは、手に取る人々を今も魅了し続けています。



椿
昭和24年2月24日



冬櫻(部分)
昭和24年1月22日